

(別添資料1)

| | | | | | | |
|-----------|---|---|---|----|----|----|
| 事業所名 | くすのき | 支援プログラム(参考様式) | 作成日 | 7年 | 2月 | 1日 |
| 法人(事業所)理念 | 1. 利用者が明日に希望が持てるサービスを目指します 2. 多彩なサービスを提供することで、地域の方に頼られる法人を目指します 3. 職員が遣り甲斐・働き甲斐が持てる職場づくりを目指します。 | | | | | |
| 支援方針 | 1. 心身ともに安定した生活づくりをしましょう 2. お友だちや先生といろいろなことをやってみましょう 3. 「できた・やった」の体験を積み重ねましょう | | | | | |
| 営業時間 | 8時30分から | 17時50分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし | |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ①身辺自立の獲得・定着：食事・排泄・衣服の着脱等の身の回りのことをお子さん一人ひとりの発達段階に応じて「できた・やった」の経験が積み重なるように環境調整を行い、専門訓練士等と連携しながら適切な時期において適切な支援の提供を行っていきます。 ②健康管理：お子さんの体調についてご家族と連携しながらきめ細やかに確認を行っていきます。日頃よりお子さんの状態や特性等をしっかりと把握しておくことで平常とは異なる体調の変化の小さなサインにも気付けるように留意します。また適宜、水分補給・検温等の体調管理・手指消毒等の感染対策を行います。月1回嘱託医による健康診断を実施し体調管理はもちろんです。お子さん一人ひとりの発達についての情報共有も行っています。 | | | | |
| | 運動・感覚 | 作業療法士や理学療法士等の専門訓練士と連携しながら、お子さん一人ひとりの姿勢や日常生活動作についての確認や調整を行います。専門訓練士の助言をもとにした活動や遊びを通じて姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作、体力の向上を図ります。活動を通じて、「できた・やった」の経験が積み重なっていくようにお子さんの頑張る姿勢を認めて評価を行っていきます。また、さまざま活動や経験を通じて運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感といった感覚や感触に触れることで感覚の成長を支援します。 | | | | |
| | 認知・行動 | 臨床心理士等の専門訓練士と連携しながらお子さん一人ひとりの認知特性のアセスメントを行い、発達段階に応じた認知機能の発達を促す支援を行います。また遊びや活動を通じて職員とともに“みる”“さく”“やってみる”姿勢の経験を重ねていきます。ときには苦手なことやちょっぴり勇気を出して行わないといけないこともあるかもしれませんがさまざまな体験を通じて“先生と一緒に大丈夫”“苦手だけどチャレンジしてみよう”という気持ちの芽生えを応援していきます。また、“できたこと”“頑張ろうとする姿勢”をしっかりと認めて評価することで、お子さんが自信や達成感をもてるよう支援を行います。 | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言語聴覚士等の専門職員と連携しながらお子さん一人ひとりに応じたコミュニケーション手段のバリエーションが広がっていくように支援を行っています。遊びを通じてコミュニケーションの基礎となる人への意識(“人と関わって楽しいな、もっと伝えたいな”)が芽生えるような関わりや環境の設定を工夫していきます。職員とのやりとりはもちろん、お子さん同士のやりとりも設定しながら、“こんなときにはこんな風に伝えるといいんだ”というコミュニケーション方法をともに練習していきます。言語聴覚士による個別療育も実施しております。お子さん一人ひとりの言語面のアセスメントを行いながら、コミュニケーション手段が広がっていくように指導を行っています。 | | | | |
| | 人間関係社会性 | 臨床心理士等の専門訓練士と連携しながら、まずはお子さんが安心感と信頼感が持てるような環境設定や支援を行っていきます。新年度のはじめ等の環境の変化に不安を抱えてしまうことあると思います。ご家族と連携し安心して園生活が送れるように情報共有を行っていきます。お子さんが“楽しかった！また来たいな”と思っただけのような支援の提供を目指していきます。またお子さん一人ひとりの発達段階をアセスメントし、遊びを通じて社会性の促進(模倣、やりとり、ルール理解等)を行います。発達段階に応じて椅子取りゲームなどのグループ活動も設定しながらルールの理解や確認、役割分担等の経験を積み重ねていきます。ときには悔しい思いをすることもありますが、職員とともに様々な経験を積み重ねていくことで自分の気持ちや行動の調整が出来るように支援を行います。お子さんの“頑張ろうとする姿勢”を認め評価を行います。お子さんとのやりとりのなかでたくさんの“すき”を見つけ、増やしていきたいと考えています。すきなことがたくさんあることはとても素敵なことです。“すき”を介しながら子どもたちがそれぞれ持っている素敵なところが豊かに成長していくよう応援していきます。そして現在だけでなく5年後、10年後と地域で生き活きと自分らしく生活していく未来を見据えた支援の提供を目指します。 | | | | |
| 家族支援 | 家庭訪問、個人面談(年2回)を実施しております。また面談場面以外でも適宜、保護者のみなさんの不安や悩みがひとつでも減っているように情報共有をさせていただいております。また、令和5年度よりペアレントトレーニング(年6回コース)を再開しております。保護者のみなさんとともにご家庭での関わりのなかで活かしている支援のヒント、また困りごとや悩みごとがひとつでも解消できるように考えています。 | 移行支援 | 小学校入学や地域の園への移行など様々なライフステージにおいて各関係機関と連携し、お子さんの持っている力を十分に発揮し生き活きと生活が出来るように情報交換または共有を行っています。また、小学校入学に向けては臨床心理士による発達検査の実施、また「ふくおか就学サポートノート」等の引継ぎシート記載等を行い、お子さんの得意なところ、苦手なところ(どうすればうまくいくかといった配慮すべき点も含め)をしっかりと小学校へと情報伝達を行っています。また各町の教育委員会とも連絡調整を行っています。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 行政・医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、お子さんとそのご家族が地域で生き活きと生活するための支援を行っています。また、保育所等訪問支援も小学校2年生まで対象としてライフステージに応じた切れ目のない支援の提供が出来るようにしております。 | 職員の質の向上 | 外部研修への積極的な参加はもちろん2か月に1回外部講師(鳥取大学 井上雅彦先生・大羽沢子先生)によるコンサルテーションを実施しております。井上先生、大羽先生よりお子さんへの関わりについての助言をいただき、日々の支援に活かしています。職員も日々の支援の振り返りが出来るため、自己研鑽に繋がっています。 | | | |
| 主な行事等 | 入園式・子どもの日行事・七夕・敬老の日・運動会・みかんがり・節分行事・生活発表会・ひな祭り行事・卒園式 等 | | | | | |